

中森邦男氏 シンポジウム

～2020年東京オリンピック・パラリンピックとスポーツ観光拠点としての沖縄～

日時：2014年 7月26日 (土)

場所：いちゅい具志川 じんぶん館

開場：13:00



講演：中森 邦男

日本パラリンピック委員会 事務局長



「2020年東京五輪と沖縄の可能性」

トークセッション

「スポーツ・ツーリズム拠点としての
うるま市の可能性」

ファシリテータ

佐久川 篤 うるま市経済部企業立地雇用推進課 課長

パネリスト

中森 邦男 日本パラリンピック委員会 事務局長

親川 修 NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 理事長

山内 彰 元沖縄県教育長 / 元沖縄県立図書館長

主催：うるま市

事務局：株式会社国建 地域計画部 担当 宮平江美子 連絡先 098-861-0578

2020年、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されることになりました。

政府は、この東京五輪開催に向け、訪日外国人2,000万人を目標とするとともに、オリンピック・パラリンピック開催効果を地方に波及させるため、全国での文化プログラムの実施、日本各地への各種国際競技大会及び事前合宿の誘致等の観光戦略を打ち出しました。

うるま市は、本島東海岸での新たな観光地づくり、4市町村合併に伴う公共施設マネジメント等を課題とする中、豊かで魅力ある自然資源や多くのスポーツ施設の有効活用及びバリアフリー化による豊かな福祉社会の構築、そして、これらの複合的目標としての「オリンピック・パラリンピック強化合宿、事前合宿拠点の形成」を「ドリーム・アイル うるま」として掲げたいと考え、実現に向けて計画づくりを急ピッチで進めています。

東京オリンピック・パラリンピックの開催決定に際し、日本パラリンピック委員会事務局長中森邦男氏をお招きし、沖縄県うるま市での強化合宿の可能性をご教示頂きたく、本シンポジウムを開催することになりました。

多くの関係者にご賛同、お集まり頂ければ幸甚に存じます。

